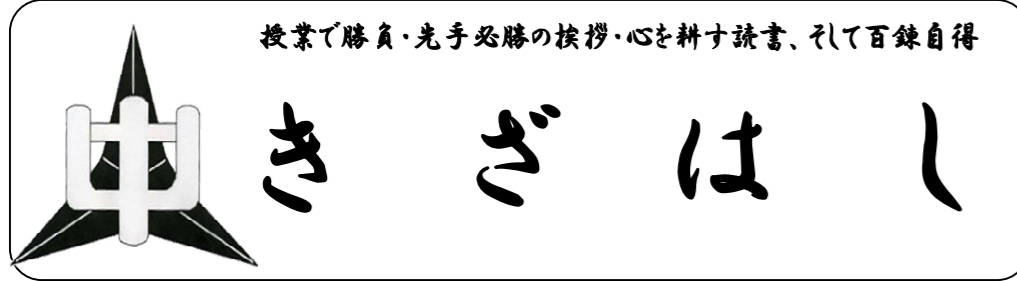


授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書、そして百練自得



金ヶ崎町立金ヶ崎中学校
平成 29 年度校報
第 39 号
平成 30 年 3 月 23 日発行
文責：遠藤

卒業証書授与式

3月15日(木)に本校体育館にて、平成29年度金ヶ崎町立金ヶ崎中学校第53回卒業証書授与式を挙りました。高橋町長さん、千葉教育長さんをはじめ多くの来賓の皆さん、保護者の皆さんの見守り中、152名の卒業生が義務教育修了の証である卒業証書を手にしました。校長からは次のようなはなむけの言葉を贈りました。

『(前段落)生徒会スローガン「跳躍」のもと、学習・部活動、そして学校行事にと熱心に取り組む、中学校の全教育課程を無事修了されましたこと、誠におめでとうございます。(中略)特に今年度は、雨の中の体育祭で、組団をまとめ、団結賞をめざし、力強いリーダーシップを発揮し一心不乱に取り組み、後輩諸君に本校の伝統をしっかりと伝えた姿は鮮やかな記憶として残るものです。また、文化祭では金中文化の証となる合唱に、厚い思いを込めて取り組み、創造賞を目指す姿は忘れることのできないものとなっています。そして、日々の部活動では先頭に立ち、継続して取り組んだ成果として、全国大会(中略)また東北大会に出場した(中略)活躍は校史に新たな歴史を刻んだことは、本校にとって、大きな財産となりました。(中略)これは、社会人としての基礎を身に付け、自分自身の責任を自覚し、独り立ちのスタートラインに立ったということの意味するものです。この卒業という新たな旅立ちにあたり、はなむけに次の言葉を贈りたいと思います。

少年老い易く學成り難し
一寸の光陰軽んず可らず

未だ覚めず池塘春草の夢 階前の梧景 已に秋聲

江戸文化に影響を与え、中国の宋時代に活躍し、朱子学を完成させた朱熹の詩、「偶成」です。

(中略)私はこの詩が「若いときには心ゆくまで夢に挑戦しないと、あつという間に老いがやって来る」と教えているものと思っています。(中略)諸君らが社会の第一線で活躍する頃、ここ古里金ヶ崎は大きな変貌を遂げていることでしょう。岩手県南では、国際リニアコライダーILCの施設が展開され、森山工業団地はさらに大きく発展し、諸君らの活躍の場は増々大きな広がりを見せていることでしょう。その時のためにも、「少年老い易く學成り難し、一寸の光陰軽んず可らず」偶成を心に留めながら、古里金ヶ崎そして岩手の復興発展のために、その力を十二分に蓄え、遺憾なく発揮してください。(後段落)』

また、在校生を代表して生徒会長藤澤さんから送辞と在校生合唱「ほらね、」を感謝の気持ちと共に贈りました。それに答えて卒業生を代表し前生徒会長鈴木さんから答辞と構成詩、卒業生合唱「群青」で卒業への思いを伝えてました。さらに全校合唱「いつかこの海を越えて」で締めくくりました。それぞれの思いが一つとなり、素晴らしい歌声となり、会場を包み込みました。卒業生の3年間の集大成ともいべき素晴らしい全校合唱であったと思います。

御卒業おめでとうございます。

修了式

15日(木)の午前中に、3年生の卒業証書授与式を行い、先輩の巣立ちを見送りました。その日の午後、平成29年度修了式を行いました。1年生及び2年生の全員がそれぞれの学年の教育課程を無事に修了し進級することとなりました。今年1年間の様々な取組と一人ひとりの努力の成果が実を結び、次へのステップとなりました。

校長からは修了式にあたり、次の話しました。

『(前段落)その先輩方と1年のスタートをきった1学期始業式に話したことを覚えていますか？

一つ目は、「授業で勝負」

二つ目は、「先手必勝の挨拶」

三つ目は、「心を耕す読書」

そして、「百練自得」諦めず、分かるまで、できるまで、粘り強く繰り返す精神を忘れずに取り組んでいきましょう。(中略)と、話しました。(中略)どうか、諸君らも4月からの新しい学年での生活や学習、部活動に取り組む上で、この金字塔を築きあげた自信とその土台を創り、支えていただいた先輩方への感謝を忘れることなく着実に努力を積み重ねてください。

最後に、明日の金中を築いていく諸君らに次の言葉を贈ります。

『一簣の功』 <いっきのこう>

これは『書経』という中国の古典の中に

「九仞の功を一簣に虧く」<きゅうじんのこうをいっきにかく>とあります。その意味は、「九仞の功」高い山を作るのに「一簣に虧く」最後のもっこ(簣：土を運ぶ籠)一杯の土を欠けば山は完成しないことから、あと一步の所まで行きながら、手を抜いたために、物事が完成しない事の例えで、「長い年月を積み重ねてきた努力が、最後のちょっとした気の緩みで台無しになること」を教えています。明日の金中を創りあげていく諸君らに大いなる期待と激励を込めて、そしてこれからの戒めとして『一簣の功』を時折、記憶に呼び戻して大きな山、新たな金字塔を創り上げてください。諸君ならば、必ず出来ると信じ、また期待しています。』

進級おめでとうございます。

十五の春

15日(木)午後3時に公立高等学校の合格発表が、県内公立各高等学校で一斉に行われました。各校の合格通知書を受け取りに出向いていた先生方から次々に結果が報告され、卒業生諸君の努力の成果を確認することができました。近隣高校については次の表のようです。

近隣の普通科高校で、金ヶ崎高校55名と黒沢尻北高校29名の2次募集が行われます。両高とも大学等への進学率の高い高校となっていますが定員割れをしました。反面、水沢高校、一関第一高校と一関第二高校では30

～40名が希望を叶えることができませんでした。これは、中学校を卒業する段階で将来を見据え、進路設計がしっかりとしていることがとても大切であり、高校選択の重要性を語っているものと思います。

(岩手日報H30・3・16掲載一部)		合格	受検	2次	
校名	学科	定員	者数	者数	募集
花巻北	普通	240	222	222	
	人文・自然科	120	123	151	
花巻南	スポーツ健康	40	40	40	
	科学	40	40	40	
花巻農	国際科学	40	40	40	
	生物科学	40	32	36	8
	環境科学	40	38	38	2
	情報科学	40	29	31	11
花北青雲	ビジネス情報	80	68	70	12
	総合生活	40	42	42	
大迫	普通	40	24	24	16
	東北尻北	240	211	211	29
北上翔南	総合	240	238	238	
	機械	40	40	52	
黒沢尻工	電気	40	32	35	8
	電子機械	40	40	48	
	土木	40	40	38	
	材料技術	40	33	37	7
西和賀	普通	40	39	43	
	理数	240	241	281	
水沢農	農業科学	40	34	35	6
	食品科学	40	18	18	22
水沢工	機械	40	40	48	
	電気	40	37	31	
	設備システム	40	40	32	
	インテリア	40	40	48	
水沢商	商業	40	28	22	12
	会計システム	40	38	33	
前金若一	情報システム	40	41	60	
	普通	80	58	59	22
ケ谷開二	普通	120	65	65	55
	総合	200	143	143	57
開二	普通	240	165	193	
	理数	200	200	237	

まずは、合格した諸君！おめでとうございます！

剣舞練習開始



春休みとなり、平成30年度の準備が始まりました。その中で、例年体育祭で披露している男子生徒全員による剣舞のリーダー練習が始まりました。今年から、この剣舞の基となった「長志田剣舞」の保存会の皆様のご協力により、ご指導を頂くこととなりました。練習会は3日間(19, 20, 26日)を設定し、4月から伝達講習していくこととなります。基本を再度学び直し、金中剣舞に新たな伝統の息吹を吹き込んでほしいものです。

『デンコー！』